



岡田

学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と
豊かな人間性の育成

目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども
～笑顔で いきき 自分から～

平成31年2月28日

舞鶴市立岡田小学校
学校だより No.13

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

三寒四温…

平成30年度「感謝の会」
【地域の方へ感謝のビオラ】

毎年ならば、連日のように雪かきに追われる2月ですが、今年の冬は雪が少なく、グラウンドに積雪があったのはお正月だけ…。生活はしやすいですが、これだけ雪が降らないと、夏の渇水が心配になります。

この季節には、「三寒四温」という言葉もよく聞かれます。まさしく寒い日もあれば暖かい日もある。日差しが暖かく感じる日があると思えば、急に寒さがぶり返し、何を着ようか迷うこともあります。でも、最近は寒い日よりも暖かい日の方が多くなってきました。確実に春の訪れが感じられます。

今年、台風の接近に伴い大雨の気象警報で休校にすることが多くありました。特に7月豪雨のときは、地域に大きな被害がありました。夏には、猛暑により「がんばり学習」や「がんばり水泳」、「地域プール」を中止するという今まででは考えられない事態になりました。地球規模で起こる自然の営みからは、人間ではどうすることもできない、自然の力を感じさせられました。毎年のように猛威を振るうインフルエンザの流行期には、今年も全国的に大流行し、舞鶴市内の小学校も学級閉鎖が相次ぎました。しかし、本校は罹患者が少なく、学級閉鎖をするまでには至りませんでした。ウイルスは目に見えませんが、いくら予防をしても感染してしまうこともあります。ご家庭で感染予防や拡大防止にご努力いただいたからでしょうか、大きくは広がらなかったので一安心しました。



去る2月24日(日)には、「感謝の会」と「6年生を送る会」を開催しました。「感謝の会」では、登校指導や様々な行事、体験的な学習などで日頃お世話になっている地域の方々に、感謝の気持ちを表そうと、それぞれの学年で感謝状を書き、鉢植えの花を贈りました。また、その後の「6年生を送る会」では、子どもたちが全校の歌や学年ごとの劇などを披露し、保護者や地域の方々に子どもたちが成長した姿を見ていただきました。この日のために、どの学年も真剣に練習を積み上げ、6年生に祝福のメッセージを届けようがんばってきました。練習が進むにつれ、だんだん上手になっていく子どもたちの姿に、当日の活躍を期待していました。本番ではその期待以上の発表をする姿が見られ、やはり、「子どもってすごい」「経験が子どもを育てる」ということがよく分かりました。今年、6年生の保護者が飛び入りで合唱をプレゼントしてくださいました。6年生の子どもたちもびっぴりしただろーと思いましたが、保護者の気持ちがしっかりと届けられたのではないかと思います。素晴らしい「6年生を送る会」でした。

今年度も3月の15日(卒業生は14日)を残すのみとなり、どの学年もラストスパートで学習に取り組んでいます。6年生は、「小学校を卒業する」という一つの区切りを迎えます。自分の成長を客観的に見つめ、家族への感謝の気持ちを新たにするとともに、これからの自分の歩む道を探す旅に出発します。卒業文集の原稿を読ませていただきました。今までの楽しい思い出とともに、未来の自分に向けてメッセージを書いていました。その中には、「あきらめない」や「がんばる」という言葉もたくさん出てきます。「やればできる。」でも「やらなかったらできない。」単純明快な真実です。何事も諦めないで最後までがんばるという目標をもって、一步一步確実に歩いてほしいと思います。

「3月は去る」とも言います。自分を見つめ直すには、時間が足りないかもしれませんが、次の学年に向けて目標が持てるよう、しっかりと振り返ることが大切です。新しい学年に新たな目標を持つことができるよう、ご家庭でも子どもと一緒に今年度を振り返っていただければと思います。



小中一貫で子どもを育てる…⑫
次の準備も万全に…」『年生の味噌』

3月は1年生が、昨年自分たちが岡田保育園で作った「味噌」を使って、保育園児とパーティーをとおして交流します。どんな味噌に仕上がっているか楽しみです。

2月9日(土)に加佐中学校の入学説明会がありました。6年生の保護者の方々が参加され、来年度の中学校生活について、中学校から説明がありました。また、弁当給食も体験されました。

校長 波多野 暢 教職員一同